

## 博物館資料利用の手びき①・・・「貸出しセット」を利用する

平成 24 年度博学連携委員会の研究成果として、小学校国語科の教科書に掲載されている二つのおはなし「ちいちゃんのかげおくり」（3 学年）、「一つの花」（4 学年）に登場するむかしの道具 ―戦時中のくらしのようすのわかる資料― の「貸出しセット」をつくりました。博物館所蔵の資料をかんたんな手続きで借り出し、実物を使った授業を行うことができます。※6 学年社会科「戦時中の生活」にも活用できます。ご相談ください。※各学校での利用時期が集中することが予想されますが、少しずつ時期をずらしたり、複数用意できるもので対応するなどできる限り対応しています。

### 「貸出しセット」活用のポイント

#### ○実物のもつ迫力・インパクト

- ・素材・色・形など、現代のものと比較して当時の世相や空気のようなものを直感的に感じられる
- ・写真の人物の表情などから読み取れることも

#### ○地元で実際におこった出来事・戦争にかかわる資料として

- ・遠いどこかの話ではなく、入間市という身近な場所で使われたり、入間市の人が使ったりした、という具体的な背景があることの持つ重み
- ・資料寄贈者から聞いた当時のようすや思い出・エピソードなどがわかること



貸出しセットを利用した授業風景

### 「貸出しセット」資料の借り方

#### 1. 博物館に電話（04-2934-7711）

- ・「貸出しセット」の借用希望の旨、「博学連携担当」あてにご相談ください。
- ・どのセットを、いつごろ使いたいからお知らせください。
- ・貸出・返却の日程と受け渡しの方法を調整します。

#### 2. 貸出し手続き書類を作成し、博物館へ送る

「資料貸出許可申請書」を博物館ホームページからダウンロード、または本書 p. ～ p. をコピーして、必要事項をご記入・ご捺印の上、博物館へメール便などでご送付ください。

#### 3. 来館の上、資料借り出し

- ・学芸員立会いの下、資料の状態などを点検・確認の上借り出します。
- ・学校での保管場所・資料の取扱いについては細心の注意を払うようご配慮ください。

#### 4. 学校で利用～返却

- ・学校での利用が終わったら、博物館へ返却します。
- ・学芸員立会いの下、資料の状態などを点検・確認します。

※ご利用になった感想などもぜひお聞かせください。

# 「ちいちゃんのかげおくり」「一つの花」セットの内容（主なもの）

※現状、二つのセットの内容は同じです。ご相談に応じて増やしたり減らしたりすることも可能です。



← 国民服 戦争が激しくなると、ぜいたくは敵だ、と言われるようになり、男の人は兵隊が着るのと同じような国民服を着た。



← ざつろう  
肩かけかばん



## 空襲警報表示板

警報が出ていることを知らせる表示板。裏面は警戒警報の表示板になっている。

※貸出しするのは実物大の写真



## ← 爆弾の破片

宮寺地区にアメリカ軍が落とした250キロ爆弾の破片。



## 防空頭巾

空襲がひんぱんになると、爆弾や火災から頭を守るために、防空頭巾をいつも持ち歩いた。



## 寄せ書き（日の丸）

出征する人に、戦争での活躍を祈って贈られたもの。出征時たすきにした。



## 出征兵士

兵隊になって戦争に行くために出発する時の写真。ふだんは畑仕事や商売をしているような一般の人も大勢が兵隊になった。左は豊岡町駅（現在の入間市駅）のホーム。

